

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)		コンビニ（経営者）	・年末にかけては単価の高い商材が売れるので、これから良くなる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・消費税再増税による駆け込み需要が見込めるが、その後が心配である。
		百貨店（副店長）	・直近数か月は天候の影響もあり、ファッション系商材の動きは悪かったが、来月以降は持ち直すと想定している。
		コンビニ（経営者）	・朝の客の動きが多少良いと感じている。年末年始も工場のメンテナンス等で職人が早朝来店していることを考えると、東京オリンピック景気で、多少は良くなるだろうし、良くなってもらいたい。
		家電量販店（店長）	・暖冬影響が緩和し、やや良くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・3月に大型リニューアルするので活性化し、やや良くなる。
		ゴルフ場（総務担当）	・例年、1月中旬～3月中旬までの2か月間はクローズとなるため、入場者数による判断材料はない。ただし、営業力による既存や新規の客の予約入場者は増加見込みとなっているため、やや良くなる。
		設計事務所（所長）	・良くなってほしいという希望も込めているが、年明けから数か月は消費者の動きがあると感じている。
		商店街（代表者）	・寒さの影響で高齢者の買物は控え目になりそうである。運転免許証の返上による影響も出ている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・これからは輸入品が安く入ってくる傾向なので、我々の商売は一層厳しくなる。客は高齢者が多いため、需要も少なく、デフレから抜けられないだろう。
		百貨店（営業担当）	・消費税再増税への関心が高まり、駆け込み需要など期待できる部分もあるが、抜本的な景況改善には至らず、厳しい状況に変化はない。
		百貨店（店長）	・暖冬から来る、セールへの影響が大きい。
		スーパー（総務担当）	・この冬はこのまま暖冬が続くとみている。衣料品の不振は続くため、良くなるとは思えない。好調だった食品の数字が良くないので、景気が良くなるのは、しばらく先の気がしている。
		スーパー（商品部担当）	・今の客単価の落ち込みを、すぐに改善できる要素は見当たらず、しばらく続きそうである。降雪地域のため、降雪の影響がなければ、前年並みの実績は残せそうである。
		コンビニ（経営者）	・このまま来客数の伸びが微増で続けば、全体的な売上増が見込める。しかしこのところの株価の低迷で、当店のメイン客層である大手メーカー関連企業にどのような影響があるか心配される。
		コンビニ（店長）	・店舗リニューアルのための休業が、客の動線を変えてしまい、そのまま固定されたようで、来客数が減少している。この状況を見る限り、しばらくは続く。
		衣料品専門店（統括）	・本来であればクリスマスから年末にかけて、客が多く出掛けてくるはずだが、最近は非常に来街者が少ない。郊外に大型ショッピングセンターができたので、そちらに向かう客も多いのではないかと。
		乗用車販売店（販売担当）	・自動車販売だが、これから良くなる要素が一つもない。新型車が出る計画もないので、今以上に良くなるとは思えない。
		住関連専門店（店長）	・来客数、客単価共に、前年とほぼ同等の推移である。
		住関連専門店（仕入担当）	・今後も暖冬予報で、さらに消費税再増税への対応等の動きも加速することで、個人消費は厳しい状況が続く。
	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・靴業界は流行がなくなりつつあり、通年同じになってきている。また、天候に左右されがちで先が読みにくくなっている。	
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注残は変わらない状況で、推移している。	
	一般レストラン（経営者）	・景気が回復する要因が見当たらない。年末年始は例年どおりと予想するが、もし降雪があるとすればダメージは大きい。	

一般レストラン（経営者）	・新年会、歓送迎会に期待したいが、動きの出る要因が見当たらない。
都市型ホテル（スタッフ）	・1～3月にかけて、宴会、宿泊共に、前年比103～105%で推移している。現在の市場規模を考えると、そろそろ高止まりになるとみている。レストランのランチ利用が、正月を過ぎると一気に落ち込むので注視したい。
都市型ホテル（営業担当）	・年始の稼働は、余り伸びないので1月は少し厳しい。2月も例年余り伸びない。ただ、例年どおりとすると、根本的な状況は変わらない。大きく良くなる決定的なものもないし、悪くなる要素もないので、現状と変わらない。
都市型ホテル（副支配人）	・1～2月も客室メンテナンスを予定しているが、インバウンドや国内団体予約がしっかりと受注できているため、しばらくは安定した売上を計上できる見込みである。
都市型ホテル（営業）	・12月の景気は上向きで良かったが、1月は全体的に売上はやや厳しくなるとみている。しかし、目標必達を目指し営業しており、感触としては良い方向である。
旅行代理店（経営者）	・集客できるイベントが見当たらない。
旅行代理店（所長）	・4月から大型観光キャンペーンの最終年が始まるものの、隣県がメインの年であり、厳しくなると想定している。
タクシー運転手	・忘新年会が終われば、また元の状態に戻るとみている。
タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くないので、この先も変わらない。
タクシー（役員）	・人手不足である。
通信会社（経営者）	・年度末に向けて多少でも回復してほしいが、期待は薄い。
通信会社（総務担当）	・2～3か月後に、来客数が激増するような新商品、新サービスの発売予定がない。また、商品の平均単価が上がったため、購入を熟考する客が増えている。
通信会社（局長）	・世間では4Kテレビ放送開始の特需を期待している流れもあるようだが、4Kテレビの普及率は9%と低迷している。仮説として、当社のテレビ加入者の9%が4Kテレビを購入していると考え分母とし、12月から交換を始めた4Kチューナーを分子として計算すると、16.8%の客が今月から4K衛星放送を視聴していることになるが、景気が回復するほどの効果は期待できない。
テーマパーク（職員）	・1月以降に降雪等があれば、安定した天候が続いていた反動が出る可能性もある。
住宅販売会社（経営者）	・消費税の特需も落ち着き、極端な客の動きがあるとは思えないので、現状維持と予想している。
一般小売店〔衣料〕（経営者）	・毎日好天で、客もかなり出ている。幹線道路は、かなり混んでいるが、購入はしてくれないので、なかなか大変である。余り良くなるとは感じられない。
百貨店（営業担当）	・冬物セールが始まるが、例年に比べて、そもそもの商品量がやや少なく、スタート前から売上の確保が難しい状況を強いられている。消耗品などの売上は堅調だろうが、売上比率の大きい衣料品は低調と見ており、トータルではやや悪くなる。
コンビニ（経営者）	・例年2～3か月先には販売量が減る上、単価の高い商材も余りないので、やや悪くなると予想する。
衣料品専門店（販売担当）	・希望的観測で、2～3か月後までは現状が続いてほしいところである。年明け早々にバーゲンが始まって、意外と客の動きは鈍く、天候が徐々に冷え込んでくれば、今月の若干良い雰囲気そのまま継続できるとみているが、例年と比較するとなかなか難しい。
乗用車販売店（経営者）	・当地では製造業が微減しており、小売は大規模店は変わらないようだが、小規模店はかなり良くない。今の若者は通販に流れている感がある。建設業は忙しい。サービス業では、売りがある個性的な店は、そこそこに客がいる。
乗用車販売店（販売担当）	・当社は新卒者の就職用の普通車、軽自動車の販売には余力を入れていない。輸入車や大型車の取扱いが多いので、新卒者向けの車に関しては余り伸びがない。1～4月に良くなる要素は今のところないので、毎年のごとだが、1～2月は降雪や寒さのために販売量も減り、それに伴って車検、整備関係も減るので、5～6月までは横ばいで悪い状態で行くのではないかと。

	自動車備品販売店（経営者）	・今までもそうだが、将来に良くなる気配がないと、良くなるない。現在は、良くなる気配や材料が周りに見当たらない。売上は何とか努力していかねばならないが、何とか周りの雰囲気停滞しており、不安である。
	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・2～3か月で給食事業に大きな影響が出るとは思わないものの、世界的な激動のなかで、輸出関連産業を中心に影響が出て、長期的には下振れの懸念もある。
	都市型ホテル（経営者）	・毎年、悪化傾向があり、良くなる原因が見当たらない。
	通信会社（営業担当）	・海外情勢の影響を受け、株価下落など不安要素が顕在化しており、例年に比べて消費減少の懸念がある。
	競輪場（職員）	・全国発売の特別競輪レース売上が目標に届かず、前年割れの状況にある。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・1～3月の当地では、景気は悪化するのではないかと。景気に対する危機感が強くなっているような印象が強いため、悪くなるのではないかと予想している。
	住宅販売会社（経営者）	・当地では不動産の動きが低迷している。土地の値上がりも余り目立たず、下落もしていない。引き合いがほとんどない状況である。
	通信会社（経営者）	・戦後最長に並ぶ好景気などと報道されているが、デフレマインドを払拭することもできずに、日本の景気は2017年をピークに下落トレンドに入ったと思われる。地方では人口減や高齢化に加えて労働力不足が顕著であり、先行き不安は募るばかりである。現状では売上、利益共に右肩上がりになることは極めて困難といえる。
	美容室（経営者）	・年明けから日米貿易協定など問題は山積するばかりである。困難な国際情勢で、日本の権利を主張して守り切るには、今の内閣では荷が重すぎる。
企業 動向 関連 (北関東)	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・当社の納入は、3か月以上前からの受注生産のため、良くなる。
	一般機械器具製造業（経営者）	・油圧ショベル向けの応援加工増産や産業機械向けの新規立ち上げ案件が重なり、忙しくなる。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・現在の受注量から推測するに、販売量は増加する。
	化学工業（経営者）	・新たな引き合いはあるが、スポット的な需要の可能性もあり、好転には至らないとみている。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・同業者で倒産が出ている。
	金属製品製造業（経営者）	・以前よりは良くなっていると思うが、景気がこれ以上良くなるとは思わない。不安材料がいろいろある。
	電気機械器具製造業（経営者）	・今後3か月間くらいは、現状の高原状態の受注が続く予定である。伸びはないものの、現状並みのかなりの受注が来ている。社員全員残業して、何とか納期に間に合わせている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・今のところはまずまず順調だが、これから2～3か月先は、やや良くなる、変わらない、やや悪くなるのいずれも該当して、どうなるか分からない状況である。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車の北米輸出が84か月、前年超えとなっているものの、自動車メーカーの不正検査問題により、国内販売及び生産は減産となっており、変わらない。
	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはこのまま推移する。
	建設業（開発担当）	・現政権誕生後、公共工事は順調であり大変有り難い。ただ、このところの一強政治は、国会の本来あるべき姿が失われつつあるので、心配している。ふがない野党ではあるが、国会の審議は国民が納得出来る姿が必要であると思われる。今期の公共工事は前年比18%増で、特に、地方業者に一番影響のある市町村関係発注も、前年比25%増と有り難い。当社も前期比10%増の受注があり、良い年を迎えることができる。
		輸送業（営業担当）

		社会保険労務士	・取引先の中小企業のボーナスは、前年並みのところが多い。目先は大きく変わらないと思うが、金融市場の現状が続けば春以降は不安である。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3月の売上は今月より減るものの、水準としては悪くない。
		通信業（経営者）	・米国経済の影響があるかも知れず、不安要素がある。
		不動産業（管理担当）	・来年度から始まる有給消化制度の実施、管理方法を検討中であるが、有給取得時の応援体制や新たに取得状況の管理という業務が増える。ただでさえ人手不足なのに、余計に手間、時間、費用が掛かりそうで、業務委託契約を減らすことになり、イコール売上減の可能性が出てきている。
		広告代理店（営業担当）	・消費税増税の悪影響が出るので、やや悪くなる。
	x	電気機械器具製造業（経営者）	・主要取引先やその他にも、生産増強等がみられない。
雇用 関連 (北関東)		職業安定所（職員）	・景気が悪いときには、余り福利厚生などに力を入れる会社は少なかったようだが、最近では、従業員のため福利厚生に力を入れている企業が多くみられるようになっている。
		人材派遣会社（経営者）	・ここにきて、ガソリン、灯油等の価格も安定し、若干下がる可能性もあるという話を聞いている。物流関係も人手不足はあるが、活発さを見せ、全般的には年始向け商材、消費税増税前の駆け込みの動きが出てくるものとみている。
		人材派遣会社（経営者）	・今のところは悪くない。1社の売上だけが特に伸び、全体的な売上を押し上げて、結果的に少し良くなっている。
		人材派遣会社（社員）	・企業の働き方の見直しに伴い、人員補充の求人が増えることと、例年どおり、3月の人材の流動性は高くなることが予想されるため、やや良くなる。
		人材派遣会社（社員）	・周辺企業や知り合いのところにも聞いているが、特に2～3か月先の状況の変化はないのではないか、という声が多い。当社が扱っている地区内の宿泊施設等も前年同様に推移しており、大きく落ち込む予想もない。2～3か月先を見ても将来的にも、大きく動くような要素はない。
		職業安定所（職員）	・有効求職者は直近3か月平均で2.8%減少しているが、有効求人数はほぼ変わらない。企業の採用意欲は高い状態が続いているものの、新規採用は厳しさが増している。
		職業安定所（職員）	・有効求人倍率は直近3か月で最も低い2.04倍となったが、平成29年5月以降、2倍前後で推移しており、大きな変動もなく、依然として高倍率を維持するとみている。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・年内で内定を取りたい生徒は、ほぼ遅滞なく何度かのチャレンジで採用が決定している。この時期に多いのは、福祉やサービスなど求職者が集まりにくい業種である。これら業種の採用も即日内定が出たりと、基準が低くなっているようである。
		人材派遣会社（管理担当）	・派遣先の生産計画は良好で、派遣に変えて直接雇用で生産に必要な人員を確保しているため、派遣会社は苦しい。
	x	-	-